Creative Enzymes®

Pseudomonas sp. 由来の N-アシルマンノサミン 1-デヒドロゲナーゼ、組換え品

Cat. No. NATE-0470

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、N-アシルマンノサミン1-脱水素酵素（EC 1.1.1.233）は、次の化学反□を触媒する酵素です：N-アシル-D-マンノサミン + NAD+ ↔ N-アシル-D-マンノサミンラクトン + NADH + H+。したがって、この酵素の2つの基質はN-アシル-D-マンノサミンとNAD+であり、3つの生成物はN-アシル-D-マンノサミンラクトン、NADH、およびH+です。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特にNAD+またはNADP+を受容体とする供与体のCH-OH基に作用するものです。
別名	N-アシルマンノサミン 1-デヒドロゲナーゼ; EC 1.1.1.233; N-アシルマンノサミン デヒドロゲナーゼ; N-アセチル-D-マンノサミン デヒドロゲナーゼ; N-アシル-D-マンノサミン デヒドロゲナーゼ; N-アシルマンノサミン デヒドロゲナーゼ; 117698-08-5

製品情報

種	シュードモナス属
由来	E. coli
形態	凍結乾燥粉末；粉末には牛アルブミンとスクロースも含まれています。
***EC*番号**	EC 1.1.1.233
***CAS*登□番号**	117698-08-5
分子量	mol wt ~120 kDa (gel filtration)
活性	> 45 ユニット/mg タンパク質
緩衝液	0.1 M トリス-HCl, pH 8.2: 可溶性 5 mg/mL
単位定義	1ユニットは、N-アセチル-D-マンノサミンをN-アセチル-D-マンノサミノラクトンに酸化します。これは、pH 8.2、37°C、NADの存在下で、1分あたり1.0 µmoleの速度で行われます。

保管・発送情報

保存方法	−20°C